



逗子マリーナオーナーズ ワシントンヤ会 会報 No.34

2010. 5 会報担当 漆原・田中 FAX045-431-2533
<http://www.zushimarina-wo.com/>

【健全な発展を目指して】

私が初めて逗子マリーナを訪れたのは、昭和53年(1978年)の暮の頃だったと記憶しています。会社に飛び込みセールスで来られた、逗子マリーナ販売(株)の社員の方に現地を案内してもらいました。

当時32歳だった私は、既に2度ほど会員権には高い授業料を納めていました。2つのクラブの倒産という苦い経験をしていましたので、逗子マリーナへの入会は慎重でした。事業主である太洋不動産興行(株)本社のある横浜駅西口にも数回訪れました。そして昭和54年1月23日の契約の際には、契約書とは別に「覚え書」まで交わす慎重さでした。

3年間クラブライフを経験してすっかり満足した私は、昭和57年(1982年)2月に7号棟(カトリア館)の1室を購入しました。その後平成14年(2002年)5号棟に転居し、今もワシントンヤ会は、友人や家族が泊まりに来る時のゲストハウスとして有効に使わせて頂いています。

逗子マリーナに対する不満も時には耳にします。しかしその大半は、ちょっとした誤解から発生したことが多いようです。よくよく話し合えば解決する事もあります。我々が毎月開催している理事会も正にそういう場です。会員の不満や要望を、丁寧に一つ一つ拾い上げ、対応していく事こそが、ワシントンヤ会の健全発展につながるものと信じています。

今後も田中理事長を支え、微力ながら会のために貢献していきます。



副理事長 西川 廣



理事会報告

1. 中間決算報告

- ・予算案に添って順調に推移しています。
- ・各施設の利用率が下がっています。(H21.10~H22.3)

逗子	稼働率	22.6%	前年比室数差	-51室
熱海	//	9.3%	//	-93室
白浜	//	2.7%	//	-19室
白馬	//	9.0%	//	-54室
計		43.6%		-213室

特に熱海は温泉大浴場の改修の為2ヶ月位利用出来なかった為に稼働率の落込みが多くなりました。

2. 運営費の未納会員に対しては配達証明・内容証明・訴訟と順次請求を強化する事になりました。



活性化委員会報告

1. 逗子の3105号のバリアフリー改修工事を開始し、車椅子の方も泊れるようになります。お体の不自由な方もどうぞご利用下さい。
2. 各施設の食器の配布が完了しました。
3. 5月14日、白浜を活性化委員が視察し、夏のシーズンに向け、万全の体制で皆様のご利用をお待ち出来る様にします。改善の内容は次号でお知らせします。

